

武蔵野学院大学の学生が農業体験実習として農作業を体験

< 北海道 >

市町村・集落の名称	赤井川村
協働の相手（企業や大学等）の名称	武蔵野学院大学（埼玉県狭山市）
仲介者・コーディネーターの名称	赤井川村役場
協働のポイント	大学から依頼があり、農業者団体に受け入れを依頼した。2年目以降、希望する学生が増えたことから、団体に加盟する農家だけでは対応できず、個別農家に依頼を行った。
協働のきっかけ・経緯	平成14年10月：武蔵野学院大学からインターンシップ（体験学習）として農業体験実習を行いたいと依頼 平成17年7月より実施
取組の具体的な内容	武蔵野学院大学の学生約20名が赤井川村内の農家にて農作業体験を約10日間行っている。
農村地域への効果	農作業の繁忙期に農業者も貴重な労働力として助かっており、また帰京後も交流が続いている例がある。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	学生の農業や農村、食に対する意識の変化が見られる。
仲介者等の役割	受け入れ農家の確保、事前準備、全体へのオリエンテーション。
今後の課題	農業者が高齢化してきていることから、受け入れ先の確保が厳しくなっている。
関連事業（国・都道府県等）	なし

(活動状況写真等)

